全世界の勤労者団結せよ！

金　正　恩

第15回全国教員大会の開幕会議で行った演説

2026年9月2日

朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
2026

全世界の勤労者団結せよ！

金　正　恩

第15回全国教員大会の開幕会議で行った演説

2026年9月2日

朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
2026

わが祖国の未来を育むという大きな誇りと栄誉を胸に、この意義深い大会に参加した教育者の皆さん！

私は、他の大会や分野別の講習会が行われるときとは異なる思いと期待を抱き、この大会を特別に重視しています。

教育は、他のどの分野にも後れを取ってはならず、また後れを取らせてもならない、国家にとって最も重要な事業です。これは疑う余地のない事実であり、われわれの一貫した原則でもあります。

貴い祖国の子孫の成長を受け持っているありがたい人たちに常々伝えたいと思っていた深い敬意を、こうしてこの場で改めて直接お伝えできることを、本当にうれしく思います。

皆さんとこうして向き合うと、皆さんのような多くの教育者によって、祖国の誇りとなり、人民の英知を体現する人材が育ち、この国の美しさと強大さがしっかりと受け継がれているのだと実感し、感謝の念を禁じ得ません。

尊敬する先生の皆さん！

私はこう思っています。

この世に、母親という神聖で貴い呼び名と並び称されるものがあるとすれば、それはおそらく先生という言葉でしょう。

この世に、母親と先生という言葉ほど尊い呼び名はありません。

生命を与えるのが母親であるなら、その人生を立派に磨き、成長

へと導いてくれる恩人こそ、われわれの先生たちです。

母親の権利は誰かが付与するものではありませんが、先生という呼び名は、この地に生まれた人々を立派に育て、導く教育者の道を自ら選び、その本分を全うすることによって得られる資格であり、栄誉です。

その聖なる呼び名は、誰かが守ってくれるものではなく、自ら守り抜かなければならないものです。教壇に立ちながら胸に秘めてきた思いがどれほど多く、夜を明かしたことがどれほどあったかを思うと、まことに頭が下がり、深く感動するようになります。

志向や性格、趣味、家庭環境などが異なる学生たちへの知識の伝授や道徳教育はもちろん、学業や生活を細やかに見守る先生たちの多忙な日常にささげられる苦労は、わが子を育てる母親の苦労のように計り知れないものであり、それは誰も肩代わりできないものです。

大切なわが子や家庭、父母兄弟に注ぐべき愛をことごとく教え子に傾け、国の将来をしっかりと支えながら、それを自らの本分とする教育者たちの生き方は、この国の至るところで、最も美しく高潔な愛国の模範として万人の尊敬を集めています。

さまざまな職場や持ち場で活躍する教え子たちの歩みに馳せた思い、時には、犠牲となった教え子を偲んで流した涙が胸に迫っており、それで白髪が増え、顔に皺を刻んだ先生たちの姿を、一層深い敬意を持って見つめるのです。

祖国の命令と名誉を守り、貴重な命をささげた英雄たち。たゆまぬ探究の道を歩み、強大な朝鮮の尊厳を輝かせた優れた人材たち。そして、清らかな良心をもって工場や炭鉱、農村で国を支えてきた誠実な愛国功労者たち。彼らはいずれも、立派な先生たちに育てられた教え子であるに違いありません。

しかし、栄誉の壇上に立つ教え子たちの隣に、幼い頃から愛情を注ぎ、心血を注いで育ててくれた先生たちが並んで立つことはありません。

また、彼を育てた先生が誰であり、その成長のために恩師がどれほどの苦労を重ねてきたのかを知る人も、それを聞き出す人も多くありません。

私心を捨て、何の見返りも求めずに尽くしてきたからこそ、先生たちは、教え子の功績の中に自分の取り分があると考えたことも、それを分かち合おうとしたこともありません。ただ、その教え子がほかならぬ自分の教え子であるということだけで、生涯にまたとない喜びと生きがいを感じているのです。

われわれの先生たちこそ、この国の全ての人々が頭を垂れて感謝すべき恩人であり、われわれが深い感激のうちに設けたあらゆる栄誉の壇上に、真っ先に立たせるべき愛国者の中の愛国者なのです。

これこそ、誰もが心に刻み、深く敬意を表すべき、われわれの教育者の真骨頂です。

意義深いこの場を借りて、誉れ高い一方で決して容易ではない教育者の道を自ら選び、崇高な責任感と高潔な人格をもって聖なる

教壇を守り続けている全国の教育者たちに、心からの敬意と感謝を表します。

併せて、異国の地で変わらぬ愛国の意志と不屈の闘いによって民族教育の権利を守り、同胞社会と総聯の未来を力強く支えている、総聯の全ての教育活動家に心からの感謝を表し、熱い激励を送ります。

そして、党の教育政策を忠実に実践し、教育基盤の強化にあらゆる誠意と努力を惜しみなく注いでいる模範的な後援団体と幹部たちを高く評価します。

今、この大会場には、学生や教え子、保護者だけではなく、学校とつながりのあるこの国の全ての家庭から寄せられた、真心のこもった祝福が満ちあふれています。

それは、われわれの先生たちに愛するわが子の成長を託しており、これから生まれ育つ子孫の将来も先生たちによって育まれるからです。

教員大会はこれまでに15回開催されてきましたが、今回のように、教育者たちが祖国に贈る貴重な結実と、人民が認める成果を誇りとして迎える大会は、かつてなかったと思います。

社会主義建設が大きな変革期を迎え、変化や革新のない部門はありませんが、教育部門では、制度や組織、教育内容や方法、教育条件や環境、さらには社会的な関心や支援に至るまで、幅広い領域で実に目覚しい変化が起きています。

このように、過去と現在を明確に対比させるほどの質的改善が、

20年、10年という年月ではなく、わずか数年のうちにもたらされたことは、一つの革命と言えます。

文明化を目指す現代において、最も発展した教育を実現する偉大な変革の幕を開き、今日の水準へと引き上げた主人公は、まさにこの場に集まった大会参加者と全国の教育者です。

朝鮮労働党が掲げた教育強国・人材強国の建設という目標と、その実現への道筋に沿って、われわれの教育者が発揮した愛国的熱意と時代的使命感、共産主義的品格は、実に気高く美しいものでした。

建国以来初めて掲げられた壮大な目標であるだけに、未経験の課題に直面することも多く、疲労困憊することもあったでしょう。しかし、われわれの教育者は、必ずやり遂げるという覚悟と情熱をもって道を切り開き、困難を乗り越えて今日に至りました。

この場に集まった全ての人たちには、あの日々の忘れがたい思い出があるでしょうし、苦労さえも幸福や生きがいと感じるほどの大きな誇りが、胸の奥深くに宿っていることでしょう。

たとえ自分たちの力を超える課題であっても、さまざまな困難を乗り越える中で培った品格と能力、身に付けた経験と教訓は、実に貴重なものです。それらは、今後も続く革命の成果をしっかりと支えていくでしょう。

わが党と祖国にとって、崇高な精神と高い知性、揺るぎない自信を備えた教員革命家の隊列があることこそ、何よりも大きな力です。

同志の皆さん！

教育は、精神と知識を通じて、国と民族の過去・現在・未来をつなぐ橋のようなものです。

実際、われわれは一貫した教育重視政策と優れた社会主義教育制度の下で、栄えある歴史を築き、今日のような国家の尊厳と国力を示しながら、さらなる繁栄に向けて力強く前進しています。

歳月を経ても色褪せることのない革命的思想と愛国精神を大切にし、高い倫理観と幅広い知識を兼ね備えた人材を育て、重要な役割を担わせてきた教育の伝統は、今後もしっかりと受け継がれなければなりません。

この国の未来を託せるのは、祖国と人民の偉大な歴史と伝統を身に付け、人類が築き上げてきた知性と文明を吸収し、自国を強大で豊かな国にするという抱負と、それを実現する実力・才能を備えた人材だけです。

現在、われわれの教育部門は、極めて重要な責任を担う段階にあります。

今年から、われわれの教育は、第1次全般的12年制義務教育綱領の実施で得られた成果を踏まえ、第2次綱領の実施段階へと移行しています。また、高等教育部門も、これまでとは異なる発展段階に確実に入っています。

われわれの教育が新しい道程を歩み出している現段階において、教育の発展と直結している一連の事業が長期的な展望に立って計画され、着実に実行されてこそ、われわれは国家建設に更なる

活力を吹き込みながら目標としたレベルに達することができます。

教育のための正しい努力は、未来への投資であり、今後の発展への足掛かりであり、われわれの全ての理想の保証です。

これまで、教育分野で世界の先頭に立つという目標を掲げ、そのための基盤を築いてきたとすれば、これからは確かな成果を示し、最も先進的で優れた教育の全体像を明確に打ち出さなければなりません。そして、祖国と革命の未来のために決意をもって始めた新時代の教育革命を、必ず成功させなければなりません。

こうしたことから、教育事業全般を分析・総括し、教育の新たな質的発展を促すための具体的な課題を討議する本大会は、まさに時宜を得て開催されたと言えます。

教育者の皆さん！

われわれの教育を、誰もが羨み、受けたいと願う最高水準の教育、そして祖国の富強・繁栄を力強く牽引する世界一流の教育へと発展させることが、わが党の理想であり、意志です。

党と国家は、国の将来を左右する重大な使命を、あなたたち、すなわちわれわれの先生たちに託しています。

教育者は、国家と革命の大計を立てる設計家、建設者であり、教育革命の主体です。

一つ一つの授業案、そして授業や講義の1分1秒が未来を照らす灯火となり、人材の豊かな森を育む養分になるという自覚を持って本分を果たしてこそ、新時代の教育革命は日ごとに力強く前進していくでしょう。

学生の成績を評価するのは教員ですが、教員の成績は、教え子が人生に刻む足跡によって評価されます。

教育者は、生涯にわたって手本とされる高潔な品格と、全ての学生が心から敬服し、納得する学問的権威を備え、新しい世代を祖国の未来を担う人材へと育てる園芸家にならなければなりません。

学校の規模や学生数は異なっていても、全ての学校で、国を支える柱となり、家庭の誇りとなる、忠実で心豊かな新しい世代を育てなければなりません。

教育者が、よくできる子よりも未熟な子に一層真心を注ぎ、より多くの手間をかける母親のような気持ちで、全ての学生を見守り、きめ細かく導いていくならば、われわれは未来を安心して託すことができます。

同志の皆さん！

国の最も重要な資源を育てる土壌であり、国家発展の原動力である教育の価値は、金銭をもって計算することはできません。

今一度確言することですが、教育事業は国事の中の第一国事であり、教育者は誰よりも高く押し立てられなければなりません。

取り組むべき分野は広く、力を注がなければならないことも極めて多いですが、わが党と国家はあらゆる努力と真心をもって教育の進歩を導き、先生たちが守っている教壇を大切にするでしょう。

私は、この場にみなぎる情熱と皆さんの気高い姿から、教育革命という聖なる事業を推し進める無限の力と勇気を感じています。

先生たちのような頼もしい方々が教育を担っているからこそ、われわれの教育は、国の尊厳と強大さを育む揺籃として、繁栄する文化的な未来を切り開く基盤として、これからも受け継がれていくでしょう。

われわれの教育者一人一人が、この国の全ての人々から限りない敬意と愛を受けながら、聖なる使命と名誉ある呼び名を守り抜いていくよう、改めてお願いします。

本大会が、全国人民の熱烈な期待と祝福に応える立派な成果を収めるものと確信し、第15回全国教員大会の開会を宣言します。

金　正　恩

第15回全国教員大会の開幕
会議で行った演説

発　行：　朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
発行日：　2026年10月

No. 2681403